

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 23 日 (2017.3.23)

【公表番号】特表 2015-506739 (P2015-506739A)

【公表日】平成 27 年 3 月 5 日 (2015.3.5)

【年通号数】公開・登録公報 2015-015

【出願番号】特願 2014-548966 (P2014-548966)

【国際特許分類】

A 6 3 F 13/428 (2014.01)

A 6 3 F 13/211 (2014.01)

A 6 3 F 13/92 (2014.01)

A 6 3 F 13/213 (2014.01)

A 6 3 F 13/426 (2014.01)

【F I】

A 6 3 F 13/428

A 6 3 F 13/211

A 6 3 F 13/92

A 6 3 F 13/213

A 6 3 F 13/426

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 16 日 (2017.2.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 5】

前記第 1 のオブジェクトおよび前記第 2 のオブジェクトを照明することを更に含む、請求項 1 に記載のビデオゲームに対して方向性の入力を提供する方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 9】

前記第 1 のオブジェクトおよび前記第 2 のオブジェクトが照明される、請求項 8 に記載のビデオゲームに対して方向性の入力を提供するデバイス。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 16

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 16】

前記第 1 のオブジェクトが存在するときの前記第 1 のオブジェクトと、前記第 2 のオブジェクトとが照明される、請求項 15 に記載のビデオゲームに対して方向性の入力を提供する周辺デバイス。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 2 3】

前記第 1 のオブジェクトが存在し、かつ、前記第 2 オブジェクトが存在する場合は、前記第 1 のオブジェクトと前記第 2 オブジェクトとが照明される、請求項 2 2 に記載のビデオゲームに対して方向性の入力を提供する周辺デバイス。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 1】

1 つの実施形態では、本方法は、第 1 のオブジェクトおよび第 2 のオブジェクトを照明する、即ちイルミネーションを行うことを含む。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 5】

1 つの実施形態では、第 1 のオブジェクトおよび第 2 のオブジェクトが照明される。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 0】

1 つの実施形態では、第 1 のオブジェクトが存在するときのこの第 1 のオブジェクトと、第 2 のオブジェクトと、が照明される。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 7】

1 つの実施形態では、第 1 のオブジェクトが存在するときのこの第 1 のオブジェクトと、第 2 のオブジェクトが存在するときのこの第 2 のオブジェクトとが、照明される。

【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 3】

図 4 は、本発明のある実施形態による、ビデオゲームに対して方向性の入力を提供する周辺デバイス 6 0 を示す。図示するように、周辺デバイス 6 0 は、ピストルのような形状で、かつ内部から照明されることが可能な追跡オブジェクト A を有するモーションコントローラ 2 0 を受容するレセプタクル 6 2 を含む。方向性入力デバイスとしての動作中、追跡オブジェクト A の三次元位置だけが追跡される。二次的な追跡オブジェクト 6 4 は、ビデオゲームとの対話性を求めて周辺デバイスを使用している間に、二次的追跡オブジェク

ト 6 4 がモーションコントローラ 2 0 の追跡オブジェクト A に対して異なる深さに置かれるように、配置される。二次的追跡オブジェクト 6 4 は深さを除外して二次元で追跡されるだけであるため、二次的追跡オブジェクト 6 4 は、画像キャプチャデバイスによってキャプチャされた画像中の自身の外見に基づいて深さを決定することを可能とするようなサイズである必要はない。二次的追跡オブジェクト 6 4 は、認識可能であれば最小サイズであってよく、かつ画像キャプチャデバイスによってキャプチャされた画像の画像分析に基づいて追跡されることが可能であればよい。1 つの実施形態では、二次的追跡オブジェクト 6 4 は、ライトであり、かつ L E D などの光源を含み得る。二次的追跡オブジェクト 6 4 は、追跡オブジェクト A が画像キャプチャデバイスに対して二次的追跡オブジェクト 6 4 を遮ることを防止するために、画像キャプチャデバイスに対して追跡オブジェクト A から横方向にオフセットされる。

【誤訳訂正 1 0】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 9】

ゲームコントローラ 7 0 2 ~ 7 0 3 は、B l u e t o o t h リンクを介してシステムユニット 7 0 0 と無線で通信するように、または U S B ポートに接続され、これによりゲームコントローラ 7 0 2 ~ 7 0 3 のバッテリーを充電するための電力を提供するようにも動作可能である。ゲームコントローラ 7 0 2 ~ 7 0 3 はまた、メモリ、プロセッサ、メモリカード読み取り装置、フラッシュメモリなどの永久メモリ、照明される球形セクションなどの発光体、L E D、または赤外線、超音波通信用のマイクロホンおよびスピーカー、音響室、デジタルカメラ、内部クロック、ゲーム機に対面する球形セクション、および B l u e t o o t h (登録商標)、W i F i (商標)などのプロトコルを用いる無線通信体を含むことが可能である。

【誤訳訂正 1 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 8 5】

本実施形態では、ビデオカメラ 7 1 2 は、1 つの電荷結合デバイス (C C D)、L E D インジケータ、およびハードウェアベースのリアルタイムデータ圧縮・符号化装置を備え、これにより、圧縮されたビデオデータが、システムユニット 7 0 0 によって復号化されるように画像内ベースの M P E G (エムペグ) 基準などの適切な様式で送信されるようにする。カメラ L E D インジケータは、システムユニット 7 0 0 からの適切な制御データに応答して照明して、例えば、有害な照明を知らせるように配置される。ビデオカメラ 7 1 2 の実施形態は、U S B、B l u e t o o t h (登録商標)、または W i F i の通信ポートを介してシステムユニット 7 0 0 に様々に接続し得る。ビデオカメラの実施形態は、1 つ以上の関連付けられたマイクロホンを含み、またオーディオデータを送信することが可能である。ビデオカメラの実施形態では、C C D は、高解像度ビデオキャプチャにとって適切な解像度を有し得る。使用中、ビデオカメラでキャプチャされた画像は、例えば、ゲーム内に取り込まれるまたはゲーム制御入力として解釈され得る。別の実施形態では、このカメラは、赤外線を検出するのに適切な赤外線カメラである。